

## I 事業報告（総括）

令和7年度を振り返ると、8月豪雨で熊本県は大きな被害を受けました。住家被害に関しては、全壊は多くありませんでしたが、半壊は2千6百棟を超え、一部破損や床上・床下浸水は令和2年7月豪雨を上回る被害となりました。

当協会には6市5町から災害協定に基づく支援要請があり、幹事社はじめ多くの会員が仮置場の円滑な運営や災害廃棄物の迅速な処理に当たりました。平時から行っている自治体との情報交換や仮置場の現地確認作業が大いに活かされたものと考えます。改めて「備え」の大切さを感じました。11月に開催された災害廃棄物処理図上演習（熊本県主催）には多くの役員等が参加し、自治体との更なる連携を図りました。

11月には我々業界に大きく関わる再資源化事業等高度化法が全面施行されました。廃棄物処分業者は再資源化の実施に必要な措置を講ずるほか、実施状況の開示など再資源化の量を適切に管理することが求められています。この法律をより正しく理解し対処していくため、昨年につき研修会（第2弾）を10月下旬に開催しました。循環経済を担う一翼として業界発展と一緒に取り組んで参ります。

業界の課題である労働災害の防止に関して、令和7年度は労働災害防止計画（上半期：R5～R7）の最終年度でした。これまで本部・支部において労働安全衛生に係る研修会等を開催してきましたが、活動目標11項目のうち達成できたのは1項目だけでした。下半期計画（R8～R9）での取組みに期待したい。

また、地域の環境保全と循環型社会の構築に向けて、支部事業として多くの会員が不法投棄防止パトロールや撤去作業に参加しました。青年部会では10小学校で環境出前講座を行い、約580名の児童にゴミの現状や3Rの大切さを伝えました。いずれも協会の主要な社会貢献事業であり、引き続き御協力をお願いします。

その他、年3回発行の会報誌「スマイル」やメール等を通じて必要な行政情報を伝えて参りました。

本協会が実施するこうした事業は、会員皆様の御理解と御協力の上に成り立っています。以上を踏まえ、令和7年度の事業実績を報告します。

## II 令和7年度事業実績報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

### 1 会員現況（令和8年3月31日現在）

正会員 392名

賛助会員 40名

総会員数 432名

### 2 実施事業等会計

#### 1 社会貢献事業

##### (1) ホームページによる情報提供

関係法令の改正内容に関する情報や協会への問合せが多い処理困難物（バッテリー、水銀等）の廃棄物処理の可否について会員（中間処理業者）へ行った調査結果をホームページ上に公開した。

##### (2) 青年部会、女性部会 青年部協議会九州ブロック九州一斉清掃（6月7日）

九州8県の青年部会で地域貢献として、それぞれの地域で一斉清掃を実施した。

また、本県は女性部会にも参加を募り合同で清掃を行った。

参加者：青年部会17名、女性部会11名、その他2名 於：水前寺成趣園（熊本市）

##### (3) 支部主催の献血活動

支部の社会貢献事業として、以下の支部で献血活動を実施した。

宇城支部 参加者63名（8月5日）

天草支部 参加者34名（4月10日）

##### (4) 産業廃棄物処理における脱炭素に向けた取組調査

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）の委託事業として、処理業者（会員）及び排出事業者に対し温室効果ガス削減対策の状況（削減目標や対策内容、公表等）についてアンケート調査（8月）とヒアリング調査（11月）を実施。削減対策を更に進めていくための課題等を把握し、国等関係機関に情報提供を行った。

#### 2 災害廃棄物支援事業

##### (1) 災害廃棄物対策検討委員会の開催（6月5日）

###### ア 目的

令和2年7月豪雨までの災害を通して発生した課題を抽出。その課題への対策を検討し次の災害に備えた。

###### イ 成果

①災害廃棄物処理支援行動マニュアルの作成

②出水期に向けた市町村への注意喚起

##### (2) 災害廃棄物マニュアルの作成

・災害廃棄物処理支援行動マニュアルの作成

市町村からの災害廃棄物処理支援要請に基づく会員企業の支援体制を把握するため

調査を実施し、各支部の災害廃棄物処理支援行動マニュアルを作成した。

### (3) 熊本県との連携

#### ア 熊本県防災会議への参画（5月16日）

本協会が令和5年1月13日付災害対策基本法第2条第6号の規定による指定地方公共機関に指定され、熊本県が実施する熊本県防災会議へ出席した。

#### イ 熊本県災害廃棄物処理対策連絡協議会への出席（5月21日）【熊本県主催】

この協議会は、災害に伴い発生する災害廃棄物の処理に関し、情報の共有とその処理等における構成員間の連携や災害廃棄物処理を行う人材を育成することを目的に設立された。

構成員：環境省、熊本県、市町村、一部事務組合、広域連合の災害廃棄物担当者

協定締結団体：熊本県産業資源循環協会、解体工事業協会、  
環境事業団体連合会、清掃事業協同組合

#### ウ 災害廃棄物対策に関する意見交換及び仮置場候補地の現地視察【熊本県主催】

熊本県内の市町村廃棄物処理計画の実行性、協力体制を構築するため、当協会員も参加して意見交換を実施した。

時期 令和7年6月～令和7年8月

参加者 市町村（5市町村対象）、熊本県、協会支部役員

#### エ 熊本県災害廃棄物処理図上演習への参加（11月18日）【熊本県主催】

大規模地震が発生し、県内全域で被害が発生したことを想定し、液状化・土砂災害や沿岸部の津波による浸水や土砂崩れにより、大量に発生した災害廃棄物やし尿の処理、仮置場の設置運営等、主に初動期（発災後5日目～2週間程度）の演習が実施された。

参加者：熊本県、市町村、一部事務組合、広域連合の災害廃棄物担当者

協定締結団体：熊本県産業資源循環協会、解体工事業協会、  
環境事業団体連合会、清掃事業協同組合

### (4) 市町村との連携

#### ア 市町村の会議への出席

各支部において、市町村が行う防災会議等へ出席し、災害廃棄物処理について情報交換を行うとともに、市町村が策定する災害廃棄物処理計画に対する意見を述べた。

また、担当支部の災害廃棄物処理支援行動マニュアルを送付し連携に努めた。

#### イ 支部管轄市町村の災害廃棄物仮置場設置状況等の確認

令和2年7月豪雨までの災害の実態を踏まえ、市町村が設置している仮置場について、災害対策検討委員会で課題を抽出した。この課題に対して支部は、管轄市町村が設置している仮置場を地確認し、災害時に支障を来さないよう設置に関して助言した。

### (5) 令和7年8月豪雨に係る市町村からの災害廃棄物処理支援要請への対応

#### ①要請市町村：6市5町

市町村名	要請日	市町村名	要請日
①八代市	8月11日	⑦上天草市	8月13日

②玉名市	8月12日	⑧美里町	8月15日
③玉東町	8月12日	⑨熊本市	8月15日
④氷川町	8月12日	⑩天草市	8月19日
⑤甲佐町	8月13日	⑪宇城市	8月29日
⑥山都町	8月13日		

②主な要請内容

仮置場管理及び仮置場からの災害廃棄物処理

③自治体との契約方法

仮置場管理、収集運搬業務及び処分業務は、協会幹事社（12社）で委託を受け、不足分は協会員に再委託。

④処分先は、会員企業及び市町村の一般廃棄物処理施設

家電4品目は家電リサイクル法に基づき県内業者（2社）が対応。

⑤災害廃棄物処分実績（4市5町）：幹事会社報告とりまとめ【公費解体は除く。】

i 玉名市	769.72 t
ii 玉東町	238.68 t
iii 甲佐町	445.83 t
iv 山都町	31.71 t
v 美里町	278.62 t
vi 八代市	8,531.17 t
vii 氷川町	1,381.83 t
viii 上天草市	2,697.49 t
ix 熊本市	59.05 t
x 家電関係	225.27 t (※)
計	14,659.37 t

※家電関係は、家電リサイクル法により県内業者が各市町から回収した処分量

⑥災害対策支援体制調査

災害支援に協力できる会員企業の支援体制を把握するため、関係支部において調査を実施した。

⑦災害廃棄物処理の支援活動状況報告会

災害廃棄物処理の支援活動が円滑に遂行されるよう、三役会議や理事会はじめ、各支部長・幹事社や熊本県を交えた会議を開き、仮置場での課題や応急措置等について情報交換や協議を行った。

ア 執行部・関係支部長会議

1回（8/18）

イ 災害廃棄物処理の支援活動状況の報告会

2回（9/19、10/20）

※支援要請市町村に対しては、随時、各幹事社が協議を行った。

⑧熱中症対策支援交付金の支給

石川県産業資源循環協会からの見舞金100万円を活用し、猛暑の中、災害廃棄物仮置場で作業を行う会員社員への熱中症対策として取り組む経費（クーラーボックス、扇風機、飲料水、帽子等の購入）を各幹事社に支給した。（8月21日～）

⑨荒玉地域市町村との災害廃棄物処理情報共有会議（11月13日）

荒玉地域における災害廃棄物処理等の支援活動の報告、検証、今後の課題や対策について協議を行うため、荒玉支部執行部、各幹事社及び市町村担当者において共有会議を行った。

⑩熊本県への令和7年8月豪雨での災害廃棄物処理支援に関する要望（11月21日）

- 要望事項：①仮置場への持込みに関する住民への周知徹底、被災証明等の発行  
②災害関連情報の速やかな伝達

※12月16日付け回答あり

⑪令和7年8月豪雨に係る熊本県への義捐金贈呈（12月10日）

金額：20万円 内訳：九州各県協会（8県）各2万円＋九地協4万円

### 3 熊本環境保全推進支援金事業

(1) 会議の開催

支援金運営委員会2回（7月2日、2月12日）

(2) 不法投棄対策事業

・支部事業

①各地域不法投棄連絡会議への出席

②各支部不法投棄パトロール、撤去事業等の実施（写真添付：P22～P24）

	支部	期日	事業内容	実施場所
1	荒玉	12月2日	不法投棄パトロール	小岱山登山道・玉名市、天水地区
		2月20日	不法投棄パトロール	玉名市梅林地区
2	城北	11月20日	不法投棄パトロール	合志市近郊
3	熊本市	1月7日	不法投棄パトロール	富合町雁回公園付近
		2月25日	不法投棄撤去作業	富合町雁回公園付近
4	宇城	1月27日	不法投棄パトロール	宇城保健所管内・御船保健所管内
5	南部	9月17日	不法投棄撤去作業	水俣市月浦地区
6	天草	2月17日	不法投棄パトロール	天草市(有明町、宮地岳町)、上天草市松島町
		3月11日	不法投棄撤去作業	天草市有明町須子地区

(3) 環境教育事業（写真添付：P25～P26）

青年部会が実施する小学校第4学年を対象とした「環境出前講座」は、今までの大量消費・大量廃棄型のライフスタイルの見直しや、不法投棄撲滅のためには小学校在校時から3R事業及び廃棄物処理に関する『環境教育』を行うことが重要と考え、平成25年度から開始した。

平成28年度から熊本県義務教育課の熊本県環境学習プログラムとして、熊本県内の小学校社会科学習に導入されており、子ども達自らが考え、環境保全に繋がるためにはどのように行動しなければならないのかを引き出す内容で授業を行った。

	支部	期日	実施場所	対象数	
1	荒玉	6月19日	南関町立南関第一小学校	21名	1クラス
2	熊本市	6月24日	熊本市立一新小学校	58名	2クラス
3	熊本市	7月3日	熊本市立月出小学校	77名	3クラス
4	天草	7月7日	上天草市立登立小学校	28名	1クラス
5	城北	7月8日	菊池市立隈府小学校	87名	3クラス
6	城北	7月10日	大津町立護川小学校	23名	1クラス
7	熊本市	7月14日	熊本市立桜木小学校	72名	3クラス
8	城北	9月1日	菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校	67名	2クラス
9	城北	9月30日	菊池市立戸崎小学校	9名	1クラス
10	熊本市	1月21日	熊本市立田迎南小学校	136名	4クラス
令和7年度の環境出前講座における受講児童数				578名	21クラス

### 3 その他会計

#### 1 組織活性化会員支援事業

(1) 会議の開催

- ア 定時社員総会 6月6日：熊本ホテルキャッスル
- イ 新年賀詞交歓会 1月8日：ホテル日航熊本
- ウ 理事会 8回（基本2ヶ月に1回開催、臨時1回）
- エ 三役会議（執行部会議） 13回（基本毎月開催、臨時2回）
- オ 監査会 1回（4月22日）
- カ 各専門会議（委員会、部会）

委員会・部会	開催	期日					
表彰推薦・懲罰委員会	2回	委員会 11/19	委員会 3/19				
安全衛生促進委員会	2回	委員会 4/25	委員会 2/26				
収集運搬部会	9回	監査会 4/25	総会 5/16	部会 6/17	研修会 6/17	正副 7/17	視察研修 9/19-20
		正副 10/24	部会 12/4	正副 3/26			

中間処理・リサイクル部会	3回	監査会 4/7	総会 5/27	部会 3/9			
最終処分部会	3回	監査会 4/7	総会 5/30	部会 12/26			
医療廃棄物部会	6回	監査会 4/4	総会 5/23	正副 8/1	正副 8/26	部会 11/28	正副 12/15
建設廃棄物部会	5回	監査会 4/7	総会 5/14	正副 9/4	視察研修 11/7~9	部会 3/11	
青年部会	14回	監査会 4/10	役員会 4/10	役員会 5/9	部会 5/9	総会 5/9	広報正副 6/13
		教育正副 6/16	役員会 7/24	役員会 9/5	部会 9/5	役員会 11/14	部会 11/14
		視察研修 1/29~31	役員会 2/24				
女性部会	3回	監査会 5/9	総会 5/21	役員会 11/14			

(2) 支部事業

各支部で幹事会、支部総会、研修等を通じて組織活性化などに努めた。

支部	期日	各種事業
荒玉	4月28日	第1回幹事会
	4月28日	支部通常総会
	5月8日	ゴルフコンペ
	6月11日	第1回支部三役会議
	6月20日	第2回幹事会
	7月24日	第3回幹事会
	8月8日	第4回幹事会
	8月19日	第5回幹事会
	10月2日	第6回幹事会
	10月31日	第2回支部三役会議
	12月11日	ゴルフコンペ
	12月15日	第7回幹事会
	3月31日	第8回幹事会
城北	4月17日	第1回幹事会
	4月17日	支部通常総会
	7月22日	第2回幹事会
	12月20日	第3回幹事会
	2月6~8日	視察研修
	3月28日	ゴルフコンペ
熊本市	4月14日	第1回幹事会
	4月26日	第2回幹事会
	4月26日	支部通常総会
	7月7日	第3回幹事会

熊本市	8月19日	第4回幹事会
	9月29日	第5回幹事会
	10月 8日	ゴルフコンペ
	11月15～17日	視察研修
	11月27日	第6回幹事会
	1月23日	第7回幹事会
	3月18日	第8回幹事会
宇城	4月25日	第1回幹事会
	4月25日	支部通常総会
	6月16日	第2回幹事会
	8月19日	第3回幹事会
	8月27日	支部臨時幹事会
	10月8～10日	視察研修
	11月27日	第4回幹事会
南部	3月26日	第5回幹事会
	4月 3日	第1回幹事会
	4月18日	第2回幹事会
	4月18日	支部通常総会
	5月13日	第3回幹事会
	8月 4日	第4回幹事会
	8月25日	第5回幹事会
	10月 9日	第6回幹事会
	12月11日	第7回幹事会
	1月28日	第8回幹事会
3月6～7日	視察研修	
天草	4月10日	第1回幹事会
	4月23日	支部通常総会
	7月16日	第2回幹事会
	1月15日	第3回幹事会

### (3) 廃棄物処理への対応

ア 廃棄物処理法等の改正に伴い、会報誌「くまもとさんばい（スマイル）」やホームページ、メール、研修会等により周知を行った。

イ 「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」に関する研修会（第2弾）の開催

この法律は、脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取組みを一体的に促進するため令和6年5月29日に公布された。令和7年11月下旬に全面施行されるのを契機に改めて法律の全体像、廃棄物処理業者の責務や判断基準、資源循環の取組み状況の報告・公表、高度化に関する認定基準等について理解するため、令和6年に続き環境省から講師を招き研修会（第2弾）を開催した。

期 日 10月23日

場 所 くまもと県民交流館パレア

講 師 環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 課長補佐 水島 大輝氏

受講者 約150名（九州各県協会約30名含む）

ウ 令和8年新年賀詞交歓会記念講演会

期 日 1月8日

場 所 ホテル日航熊本

講 演 演題 企業へのサイバー攻撃事例と生成AIの最新事例

講師 三上 洋氏（ITジャーナリスト・ライター）

受講者 約110名

(4) 表彰等事業

ア 環境省

令和7年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（10月31日）

表彰名	会員名	受賞者
環境大臣表彰	(有)誠商店	追立 武

イ 熊本県

令和7年度熊本県環境整備功労者知事表彰（2月9日）

分野	会員名	受賞者
産業廃棄物処理関係	(有)田辺工業所	児玉 陽一
	(株)井芹美化センター	井芹 智典
	(有)福岡産業	福岡 供紀

ウ 令和7年度（公社）全国産業資源循環連合会会長表彰（6月20日）

表彰名	会員名	受賞者	
個人表彰	地方功労者表彰	(株)グリーンロジスティクス	岩崎 浩
	優良従事者表彰	(株)マルコ建設	吉田 英輝
		(株)東光物産	米田 真寿
		(株)中山商店	中山 大輔
		(福)環友會	西原 忠雄
		(有)プログレ	緒方 徳弘
		(株)青木運輸	木村 謙二
		(株)豊建設	山崎 裕

表彰名	受賞事業所	所属支部	
事業所表彰	優良事業所表彰	(株)青木運輸	南部支部
	地方優良事業所表彰	(株)大晶	城北支部
		(有)更正企業	熊本市支部
		(福)環友會	熊本市支部
		日本フォレスト(株)宇城工場	宇城支部
		(株)谷智金属工業	南部支部
		(株)天草・リサイクルセンター	天草支部

エ 令和7年度（一社）熊本県産業資源循環協会会長表彰（6月6日）

表彰名		会員名	受賞者
個人表彰	地方功労者表彰	(株)明光	伊瀬知美里
	優良従事者表彰	津留建設(株)	北田 貴光
		未来環境(有)	森 茂雄
		(有)牛島産業	牛島まゆみ
		(株)吉永商会	岩村 龍男
		天栄工業(株)	松本 仁

表彰名		受賞事業所	所属支部
事業所表彰	優良事業所表彰	(株)グリーンロジスティクス	城北支部
	地方優良事業所表彰	アクアテクニカル(株)	荒玉支部
		木場木材工業(株)	城北支部
		(有)森山商店	熊本市支部
		金岡商店(株)	熊本市支部
		(有)宇土環境	宇城支部
		(有)福岡産業	南部支部
		天草緑化(株)	天草支部

(5) 会員向けサービス・支援の実施

- ア 熊本県との「災害時における廃棄物の処理等の支援活動に関する協定」締結に伴う建設業の経営事項審査に必要な書類の交付 交付実績：59件
- イ 熊本市との「災害時応急活動に関する協定」締結に伴う熊本市建設工事総合評価方式に必要な書類の交付 交付実績：52件
- ウ 協会員章（門札タイプ）の作製配付

(6) 組織の拡充

- 支部との連携による新規入会の勧誘  
令和7年度実績：正会員4者、賛助2者加入  
正会員内訳：収集運搬3者、中間処理1者

(7) 会員支援及び福利厚生事業

会員管理データベースの拡充を行うとともに、地元スポーツクラブチケット配布、支部事業等による福利厚生事業を行った。

- ア 地元サッカーJ2リーグ「ロアッソ熊本」（会員配付）  
2025シーズン公式戦観戦チケット
- イ 地元バスケットB2リーグ「熊本ヴォルターズ」（会員配付）  
2025-26シーズン公式戦観戦割引チケット
- ウ 地元プロ野球チーム九州アジアリーグ「熊本サラマンダーズ」（会員配付）  
2025シーズン公式戦観戦チケット

(8) 廃棄物の適正処理に係る講習会・研修会の開催

ア 全国産業資源循環連合会と共催で産業廃棄物処理実務者研修会を開催（10月29日）  
産業廃棄物を取扱う方々の実務に必要な委託契約、マニフェスト、帳簿等の産業廃棄物に関する基礎知識を学び、初心者から経験者まで、多くの方々に知識の習得、再確認することを目的として開催。

なお、この研修は（一社）全国土木施工管理技士会の継続学習制度（CPDS）の登録研修としても実施した。

イ 優良産廃処理業者認定制度の普及促進

① 「環境配慮の取組（エコアクション21）」の説明会（6/5）

② 2025年度自治体イニシアティブ・プログラム（5回：7/2、7/23、8/20、9/10、1/8）

優良産廃処理業者認定制度は、廃棄物処理の透明性や排出事業者が優良な処理業者を選択しやすい環境の整備につながるもの。この認定基準の一つである環境配慮の取組（エコアクション21の認証取得）を支援することにより産業廃棄物の適正処理を更に推進するため、熊本県・熊本市と共同で実施した。

(9) 後継者・若手経営者等の養成

熊本県中小企業団体中央会青年部協議会開催の「若手経営者育成研修会」等の周知、取り纏めを行うなどにより若手経営者等の養成に努めた。

(10) 労働安全衛生に関する講習会、研修会の開催等

ア 本部

①定時社員総会時研修（6月6日）

演題 労働災害の現状と対策について

講師 厚生労働省 熊本労働局労働基準部健康安全課

地方産業安全専門官 近藤 邦博 氏

②熱中症予防安全衛生教育（管理者用）

令和7年6月から職場での熱中症対策が罰則付き義務化されることから、会員の法令遵守と熱中症予防の必要性について再認識してもらうため3日間開催。

期日：6月18日、26日、27日 受講者：計112人（75社）

③安全衛生活動の現況調査

令和5年4月に令和5年～令和7年度の労働災害防止計画を策定し、令和9年の最終目標達成に向け3つの重点実施事項を含む11の活動目標を掲げて労働災害の防止に取り組んでいる。取組みの現状を把握するため令和8年1月に会員へのアンケートを実施した。

④労働災害防止計画（下半期：令和8年度～9年度）の策定

上半期計画（令和5年度～7年度）では活動目標（11項目）のうち目標達成は1項目のみだった。安全衛生促進委員会において各活動目標の達成状況を検証し、下半期計画策定の考え方について整理を行い、令和8年3月に下半期計画を策定した。

イ 支部

支部	実施日
荒玉	7月24日
城北	4月17日
	9月16日
熊本市	4月26日
宇城	2月18日
南部	4月18日

① 研修項目

- ・労働安全対策、労働災害防止について
- ・熱中症による労働災害防止対策について
- ・一次救命処置、AEDを用いた実地体験 他

② 講師 熊本労働局、労働基準監督署等

(11) 電子マニフェスト普及促進

電子マニフェスト制度に関する周知及び操作方法等に関する問合せ対応

(12) 許可申請講習会の実施

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会及び特別管理産業廃棄物管理責任者講習会を下記のとおり行った。

ア 新規講習会

項目	開催日	受講者数
産廃の収集・運搬課程	7月15日	136名
特管産廃の収集・運搬課程	2月18日	30名
産廃の処分課程	7月15日	20名
特管産廃の処分課程	2月18日	9名
計		195名

イ 更新講習会

項目	開催日	受講者数
産廃又は特管産廃の収集・運搬課程	7月16日	145名
	2月17日	143名
産廃又は特管産廃の処分課程	7月15日	29名
	11月11-12日	61名
計		378名

ウ 特別管理産業廃棄物管理責任者

項目	開催日	受講者数
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会	2月18日	145名
計		145名

(13) 情報の収集及び提供

情報収集及び印刷物の発行事業

ア 情報収集事業

会員や県民からの廃棄物処理等に関する疑義、照会に対して、関係機関のホームページへの誘導や、必要に応じて行政に確認したうえで情報を収集整理し、回答や資料提供を行った。

イ 印刷物の発行事業

①会報誌「くまもとさんばい（スマイル）」3回（7月、11月、3月）

②会員名簿

③産業廃棄物処分施設MAP

ウ 協会員への情報提供

①許可期限の通知

更新許可申請の手続きに遅れないよう封書・葉書による通知。

②ホームページ、メール、FAX等による情報提供

（公社）全国産業資源循環連合会、国、県、市から提供される関係法令の改正や要請、業界の情報をタイムリーにかつ的確に提供した。

③産業廃棄物の処理に関する照会等への対応

産業廃棄物処理の実態や動向及び当協会の事業活動等に関する会員からの照会や相談に対して回答や資料提供等を行った。

④施設の整備に関する補助金等の情報提供

国や県の産業廃棄物処理施設の整備等に関する補助制度等の情報提供を行った。

⑤法令・融資・税務に関する照会等への対応

廃棄物処理法や関連法規に関する疑義、照会等に対し、必要に応じて行政に確認したうえで回答・助言を行った。

## 2 関係機関との連携事業

行政機関、他団体との連携事業

（1）行政機関との連携

ア 熊本県へ産業廃棄物処理に関する要望書の提出（8月21日）

要望事項 ①新規・更新許可証送付時における協会資料の同封について

②トラックスケール（計量記録装置）導入補助について

出席者 熊本県環境生活部長、環境局長、循環社会推進課長  
協会執行部

回答：11月25日付け熊本県環境生活部長名

イ 産業廃棄物基礎研修会事業（熊本県業務委託）（8月28日、9月11日）

熊本県からの業務委託により廃棄物処理法の法令遵守を中心とした内容と、産業廃棄物に携わる実務者向けの実践的な内容の両方を盛り込んだ研修を実施した。

対象者：排出事業者、産業廃棄物処理業者（主に実務経験の浅い担当者向け）

講師：熊本県循環社会推進課、財津専務理事

受講者：八代会場（8/28）163名 熊本会場（9/11）216名

ウ 行政機関主催事業

①（公財）熊本県環境整備事業団理事会 4回（5/1、6/4、10/8、3/17）

検討事項：公共関与による最終処分場の整備について

出席者：協会 野原会長（公益財団の理事として）

② 令和7年度熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業費補助金に係る検討会議及びリサ

イクル製品認証審査に係る協議 2回（6/2、2/4）

検討事項：i 熊本県リサイクル認証製品審査

ii 熊本県産業廃棄物排出量抑制支援事業費補助金

出席者：協会 石坂副会長

(2) 他団体との連携

ア 九州地域協議会（当協会が出席したもの）

	開催	期日				
		全体会議	会長会議			
全体会議 （会長会議含む）	2回	熊本 10/17	長崎 2/27			
事務局会議	2回	熊本 10/17	長崎 2/27			
災害廃棄物委員会	2回	大分 6/11	福岡 2/20			
法制度対策委員会	1回	佐賀 2/18				
最終処分部会	2回	熊本 9/12	佐賀 2/3			
中間処理部会	2回	熊本 10/3	鹿児島 1/29			
収集・運搬部会	2回	宮崎 9/19	福岡 2/18			
医療部会	2回	熊本 10/10	長崎 1/28			
建設廃棄物部会	1回	鹿児島 2/9				
青年部協議会 九州ブロック	7回	役員会 （大分） 4/8	役員会 （大分） 5/23	総会 （大分） 5/23	役員会 （熊本） 8/29	役員会 （長崎） 10/10
		役員会 （沖縄） 12/8	役員会 （大分） 2/5			

イ 全国産業資源循環連合会

①（公社）全国産業資源循環連合会定時総会（6月20日） 於：東京

② 全国産業資源循環連合会会議等（当協会が出席したもの）

	開催	期日				
		(東京)	(東京)	(東京)	(東京)	(東京)
理事会	4回	5/20	7/8	10/15	1/15	3/10
全国正会員会 長会議	1回	(徳島) 2/13				

事務局責任者 会議	1回	Web 会議 2/3				
最終処分部会 関係会議	2回	分科会 (東京) 5/12	分科会 (東京) 10/21			
災害廃棄物委 員会	1回	(東京) 5/28				
青年部協議会	14回	幹事会 (WEB) 4/17	幹事会 (東京) 5/21	総会 (東京) 6/19	幹事会 (東京) 7/9	幹事会 (北海道) 8/6
		幹事会 (静岡) 9/11	幹事会 (東京) 10/14	カンファレンス (北海道) 10/30	幹事会 (大阪) 11/13	幹事会 (東京) 12/18
		幹事会 (東京) 1/14	全国大会 (大阪) 1/30	幹事会 (WEB) 2/12	幹事会 (東京) 3/11	

### 3 マニフェスト・ステッカー頒布等事業

#### (1) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の頒布

	産廃 マニフェスト	建設 マニフェスト	積替 マニフェスト	計	前年比
令和7年度	567,500枚	354,700枚	3,690枚	925,890枚	106%
令和6年度	531,400枚	338,000枚	3,090枚	872,530枚	

#### (2) 産業廃棄物収集・運搬ステッカーの作成

	収集運搬 ステッカー	前年比
令和7年度	46枚	105%
令和6年度	44枚	